

令和5年度 事務事業評価（議会）
（令和4年度決算）

分科会評価結果

分科会名	文教分科会					整理番号	文教-3			
事務事業名	河原内陶芸楽習館主催事業									
評価区分 （事務事業の方向性）	①	拡充	2	継続	3	改善の上 で継続	4	終期設定 し終了	5	休止・廃止
〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉										
<p>本事業は、陶芸文化の普及及び振興により、市民文化の向上及び地域の活性化を図ることを目的としている。</p> <p>陶芸は生涯学習の選択肢の一つであり、陶芸文化の普及や継承並びに陶芸を通じて河原内地域の活性化や文化の振興を図るという観点から、本事業の必要性は高いと認められる。</p> <p>しかしながら、河原内陶芸楽習館は、平成8年の開館から27年が経過しており、適切な維持管理を行う中、今後は、河原内地域の活性化につなげるために、同館についてのPRの充実を図ることやイベントの開催等に当たっては、他部局と綿密に連携することを求め、拡充とした。</p> <p>なお、国等の補助制度の活用を検討するなど、予算編成の在り方についても検討することを求める。</p>										